地域で紡ぐ、こどもの幸せ



すべてのこどもが愛され、幸せに育つことは、地域の願いです。こども家庭・保健センターでは子育ての悩みに寄り添い、虐待を未然に防ぐ取り組みを行うとともに、温かい家庭環境を届ける「里親制度」を推進しています。11月の児童虐待防止推進月間にあわせ、地域の支援とこどもの未来について考えます。

問い合わせ　こども家庭・保健センターこども家庭係☎31-0643

自分にできるかたちであなたも「里親」をはじめてみませんか？

虐待など、こどもをめぐるニュースを見て、「何かできることはないかな」と思ったことはありませんか？
こどもたちを守り、成長を支えるために、私たちにできること、その一つに、「里親」というかたちがあります。

里親支援センターなごみ
ホームページ

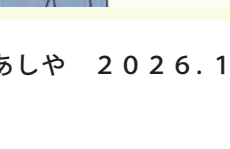
なんで里親？

さまざまな事情で家族と一緒に暮らせないこどもは全国で約42,000人います。里親とは、そんなこどもを自分の家庭に迎え入れ、あたたかく育てる人のことです。こどもたちが健やかに成長していくためには、特定の大人（養育者）との愛着関係が必要です。血のつながりは無くても、安定した愛着関係を育むことで、自分らしく生きていくことができます。

イベント案内

里親制度フォーラム
11月21日（土）

特別講演
『障がいのある子どもをどう育てる？
～親としての向き合い方や将来を見据えた支援のあり方について～』



11月パネル展
（@保健福祉センター）

会場
西宮市市民・大学共創プラザ
講師
クロカワナオキ氏
申込方法
申込フォームで

申込フォーム

詳細はなごみホームページをご確認ください。

いろいろな里親のかたち

養育里親

じっくりとこどもの成長を見守ることができます



こどもを一定期間家庭に迎え入れ、養育する里親。

養子縁組里親

戸籍上も親子関係を結びます



養子縁組を希望する人が、養子縁組の必要なこどもを養育する里親。

週末・季節里親



施設に入所しているこどもを、週末や長期休みに定期的に家庭に迎え入れる里親。

ショートステイ里親



家族に病気や出産、育児疲れでこどもの養育が一時的に困難となった際、地域のこどもを家庭に迎え入れる里親。

＼先輩里親さんに聞きました／



イメージ

『こどもも、お母さんも、私たちも。みんなに嬉しい時間』

芦屋市のファミリーサポートセンターの研修会で里親制度を知ったことがきっかけで、里親を始めました。ショートステイ里親として、これまで４組のお子さんを１～２泊でお預かりしています。お互い最初は緊張していても、一緒に遊ぶうちにすぐ打ち解けてくれます。回を重ねるごとに成長した姿やその子らしい一面を見られることが嬉しく、私たちも楽しい刺激をもらっています。お子さんからは、「バアバ大好き」、お母さんからは「いつも『とても楽しかった』と言っています」といったお言葉をいただき、とても嬉しく、やりがいを感じます。お母さんもゆっくりでき、こどもたっぷり構ってもらい、私たちも楽しく過ごせたら、一石三鳥になっていいなぁと思います。

（芦屋市在住里親Oさん）

里親登録を希望される方の流れ

STEP 1　里親支援センターなごみでガイダンスを受ける。

STEP 2　講義や施設での実習や、家庭訪問などを経る。

STEP 3　県の承認を得たのち、里親として登録。

「ちょっと話を聞いてみたい」「自分にもできるかな?」という気持ちで大丈夫です。個別相談や出前講座も随時行っています。
まずは話を聞いてみることから始めませんか？

里親支援センターなごみ
☎0798-61-8003
午前９時～午後６時

里親になるために、特別なことは必要ありません。「こどもたちの力になりたい」という気持ちが、その一歩になります。

児童家庭支援センター　子そだてサポートのぞみ

児童家庭支援センターとは、子育ての悩みやこども自身の困った気持ちを来所・電話・訪問の形で相談できる場所です。

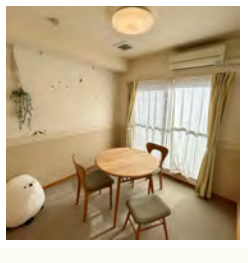


「こどもにイライラしてしまう･･･」「ちょっと話を聞いてほしい」など、どんな小さなことでもご相談ください。





子そだてサポートのぞみは、兵庫県の認可を受けて2026年４月に開設、西宮こども家庭センター管轄内の西宮市と芦屋市を担当しています。



のぞみでは、そのほかにも、
・子育てに関する講座（ペアレントトレーニング）
・「夜のこども食堂」（中高生対象）
などを開催しています。

子そだてサポートのぞみ
Instagram



子そだてサポートのぞみ（西宮市小松西町２-６-29）
☎0798-41-4435 /✉nozomi@sanko-jk.net
月～土（日・祝除く）午前９時～午後７時